

東海第二発電所 ブローアウトパネル閉止装置試験状況（速報）（1 / 2）

	試験日	加振試験	電動開閉 ^{※1}		手動閉	気密性能	備考
			開→閉	閉→開			
開放状態	H30.6.19	0.3Ss 異常なし	—	—	—	—	
	H30.6.19	0.6Ss 異常なし	異常なし 電流値 ^{※2} ：3.78～3.92A 時間：約 99 秒	異常なし 電流値 ^{※2} ：3.77～3.90A 時間：約 98 秒	—	0.24m ³ /h・m ²	組立後(加振前)の漏洩率 0.25 m ³ /h・m ²
	H30.6.19	1.0Ss 面外 X:1.49G 面内 Y:1.46G 鉛直 Z:1.55G ターゲットスペクトルを満足しない 周期帯があるが、BOP 閉止装置位置 での必要な加速度は付加されている ことを確認	異常なし 電流値 ^{※2} ：3.87～4.00A 時間：約 100 秒	異常なし 電流値 ^{※2} ：3.95～4.05A 時間：約 98 秒	開→閉 約 7 分 30 秒	0.25 m ³ /h・m ²	
	H30.6.20	1.0Ss 面外 X:1.51G 面内 Y:1.56G 鉛直 Z:1.64G チェーン破損確認。但し、閉操作可能 のため電動で閉止し気密性能試験実 施	チェーン取替後に実施 異常なし 電流値：4.02A 時間：約 99 秒	チェーン取替後に実施 異常なし 電流値：4.02A 時間：約 97 秒	開→閉 約 4 分 30 秒 閉→開 約 2 分 30 秒	0.26 m ³ /h・m ²	
	H30.6.22	1.1Ss 面外 X:1.56G 面内 Y:1.57G 鉛直 Z:1.72G	チェーン取替後に実施 異常なし 電流値：3.69A 時間：約 99 秒	チェーン取替後に実施 異常なし 電流値：3.74A 時間：約 97 秒	開→閉 約 2 分 31 秒 閉→開 約 3 分 03 秒	0.27 m ³ /h・m ²	チェーン破損後、開→ 閉電動作 電流値：4.70A 時間：約 297 秒 低速モードにて走行

※1 電流値は作動開始 1 分後の読み値を記載。電動の開閉時間は 1 秒単位に切り上げ

※2 5 回測定 of 最小値と最大値を記載

東海第二発電所 ブローアウトパネル閉止装置試験状況（速報）（2 / 2）

	試験日	加振試験	電動開閉※1		手動閉	気密性能	備考
			開→閉	閉→開			
閉止状態	H30.6.20	0.3Ss 扉の移動量について、加振後、目視にてテーパーブロックの範囲内であることを確認	—	—	—	—	
	H30.6.20	0.6Ss 扉が 52mm 移動し、電動にて閉止操作を実施	異常なし 電流値：3.95A 時間：約 99 秒	異常なし 電流値：4.01A 時間：約 97 秒	—	0.24 m ³ /h・m ²	
	H30.6.21	1.0Ss 面外 X:1.41G 面内 Y:1.60G 鉛直 Z:1.60G チェーン破損確認。扉が約 50 mm 開放（扉移動量 311 mm）したため、電動にて閉止操作を実施	チェーン取替後に実施 異常なし 電流値※2：3.64～3.86A 時間：約 99 秒	チェーン取替後に実施 異常なし 電流値※2：3.75～3.90A 時間：約 97 秒	—	0.26 m ³ /h・m ²	チェーン破損後、閉→開電動作動 電流値：4.29A 時間：約 246 秒 作動途中で低速モードにて走行
	H30.6.21	1.1Ss 面外 X:1.43G 面内 Y:1.58G 鉛直 Z:1.62G 扉が 85mm 移動したため、電動にて閉止操作を実施	異常なし 電流値：4.10A 時間：約 99 秒	異常なし 電流値：4.23A 時間：約 98 秒	—	0.27 m ³ /h・m ²	

※1 電流値は作動開始 1 分後の読み値を記載。電動の開閉時間は 1 秒単位に切り上げ

※2 5 回測定 of 最小値と最大値を記載